

令和元年度佐賀大学教育学部附属小・中学校
教育研究発表会
外国語活動 当日資料



令和元年11月14日(木)

佐賀大学教育学部附属小学校

教諭 牛尾 美穂

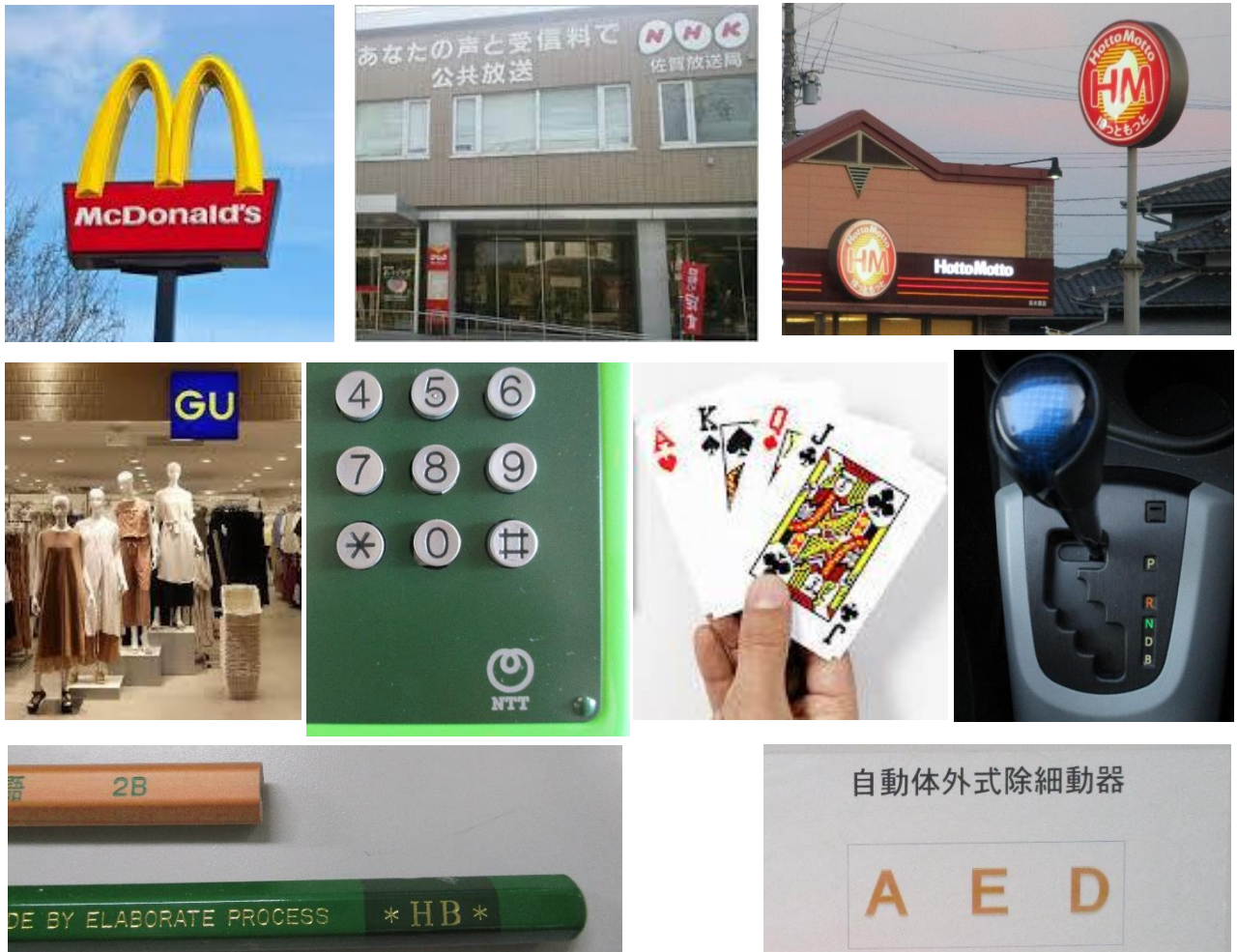
1 単元の流れ

	活動名・目標	活動内容	評価			
			知	思	主	評価規準
1	アルファベットが いっぱい ・身の回りの様々なところにアルファベットの 大文字が使われている ことに気付く。 A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z	・町の中や校内にあるアルファベ ットクイズに答える。 (自作パワーポイント教材) ・アルファベットを使って、見た ことがある言葉や知っている言 葉を作る。 ・アルファベットソングを歌う。 ・単元のゴールを知る。	○			身の回りには活字体の文 字で表されているものが あることに気づき、活字 体の大文字とその読み方 に慣れ親しんでいる。 【知識・技能】
2	アルファベットを探そう ・アルファベットの大文 字とその読み方を一致 させるとともにアルフ ァベットの大文字に慣 れ親しむ。	・アルファベットソングを歌う。 ・ポインティングゲームをする。 ・ビンゴゲームをする。 ・アルファベットカードを使っ て、アルファベットの仲間分け をする。	○			活字体の大文字とその読 み方に慣れ親しんでい る。 【知識・技能】
3	アルファベットで遊ぼう ・アルファベットの大文 字とその読み方を一致 させるとともにアルフ ァベットの大文字に慣 れ親しむ。	・アルファベットソングを歌う。 ・パズルゲームをする。 ・モールでアルファベットの大文 字を作る。 ・箱の中にあるアルファベットオ ブジェを触って、どの文字か当 てる。	○	○		活字体の大文字とその読 み方に慣れ親しんでい る。 【知識・技能】
4 (本時)	自分のことを伝えるミニ ポスターを作って紹介し よう ・アルファベットの大文 字を用いて友達との関 わりを楽しむとともに 相手に配慮しながら自 分のことを伝えたり、 友達のことを聞いたり する。 A: Hello. My name is ○○. ○ card and ○ card, please. B: O.K. Here you are. A: Thank you.	・アルファベットソングを歌う。 (自分のイニシャルの文字の時に 立つ。) ・イニシャルを伝え合い、互いに 相手のイニシャルカードを渡 す。 ・友達の好きなものを予想して尋 ねたり、自分の好きなものを伝 えたりする。 ・完成したポスターが誰のものか 予想したり、完成したポスター を紹介したりする。		○	○	自分の姓名の頭文字を伝 え合っている。 【思考・判断・表現】 相手に伝わるように工夫 しながら、自分の姓名の 頭文字を伝えようとして いる。 【主体的に学習に取り 組む態度】

2 授業の実際

(1) 1時目

児童が身の回りにあるアルファベットに気付くことができるよう、自作のパワーポイント教材を使って、町の中、学校の中、家や車などから児童が普段の生活で目にしているアルファベットを提示した。また、それがどこにあるのか、どんな意味を表しているのか考えさせた。



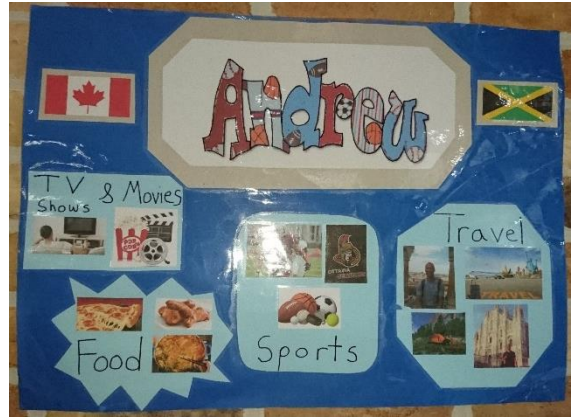
自作のパワーポイント教材の画像の一部

そして、他にも見たことがあるアルファベット、知っているアルファベットがあるのではないかと問いかけ、考えるよう促すと、児童は下記のような言葉をたくさん発表した。

TV, DVD, CD, CM, SOS, STS, USA, ANA, JAL, DS, DHC, SAGA, JR, FBS, PUMA, NIKE, GK, MONO, ATM, DHC, FM, UFO, etc

様々なアルファベットに触れた後、アルファベットの大文字 26 字を提示し、アルファベットソングを歌った。この歌は毎時間歌いながら慣れ親しませる。

最後に、本単元のゴールを共有した。担任が韓国の英語村を訪れた際目にした、そこに勤務している先生方の自己紹介ポスターを提示し、どんなことが表されているか尋ねた。そのポスターには、名前や好きなもの、出身国などがアルファベットやイラスト等で表現されている。自分たちも同じようなものを作ったことがあるのではないかと問いかけ、児童が4月に自分の名前、好きなものや友達へのメッセージなどを書き込んだ自己紹介カードを想起させた。外国語活動で、英語バージョンも作ることができそうではないかと投げかけ、本単元のゴール「自分のことを伝えるミニポスターを作ろう」を設定し、児童と共有した。



英語村に掲示されていた先生方の自己紹介ポスター

～児童の振り返りカードの記述～

- ・町の中にもいろいろアルファベットがあるんだなあと思いました。
- ・いつも気づいていなかったところなどがありました。身近に使っている鉛筆にもあってびっくりしました。
- ・ぼくのすきなひこうきやお店などにアルファベットが使われていることがわかりました。
- ・アルファベットだけでいっぱい言葉ができてうれしかったです。

(2) 2時目・3時目

音声や文字の形に慣れ親しむ活動では、様々な活動を行った。以下に紹介する。

① アルファベットソング

順番通りに歌うだけでなく、逆から歌う、途中から歌う、ランダムに並べて歌う、自分のイニシャルの時に立つなど、いろいろなバージョンで歌って慣れ親しませた。

② ポインティングゲーム

教師が言うアルファベットの名称を聞いてその文字を指さす。ペアで1枚のシートを使い、「競争」ではなく「協力」を意識させた。

③ ビンゴゲーム

聞く、聞いて反応する活動。Let's Try!1の巻末カードを並べ、教師が言うアルファベットの名称をよく聞き、そのカードがあれば裏返す。

②、③の活動は、文字の読み方の発音を聞いて、それがあらかず文字が分かるようにすることを目指して取り組んだものである。

④ パズルゲーム

アルファベットのカードを分割し、それを児童に配る。児童は、自分のカードがどのアルファベットか予想し、声に出しながらパズルを完成させるためのカード（相手）を探す。完成したら、その文字の名称を言う。

聞く、聞いて反応する活動（②ポインティングゲーム、③ビンゴゲーム）から、声に出す活動（④パズルゲーム）のように段階を踏んでアルファベットの音声に慣れ親しませた。



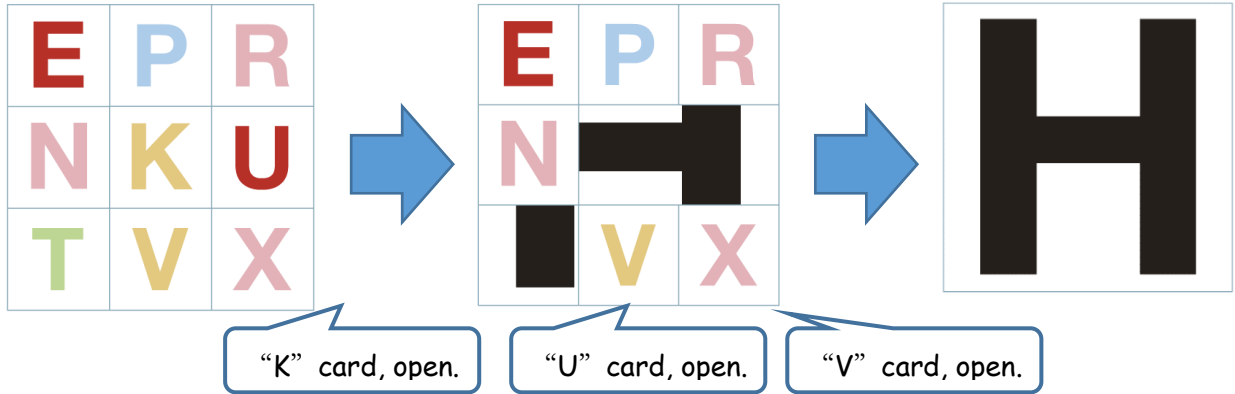
⑤ アルファベットの仲間分け

アルファベットの大文字を自由に仲間分けする。

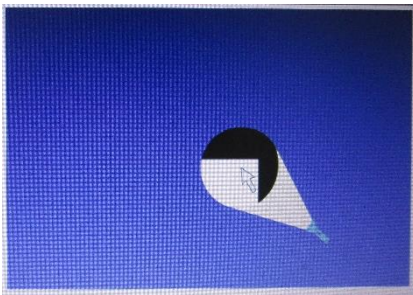
アルファベットの仲間分けをする活動では、文字の形に注目するだけでなく、G, K, F, Wなどのサッカーのポジションに使われるアルファベットやA, K, S, T, Nなどローマ字を書くときに使うアルファベットなど、それぞれの児童の知識や経験から整理されたものも見られた。

⑥ アルファベットクイズ (Hi, friends!plus)

○ パズル



○ 懐中電灯クイズ

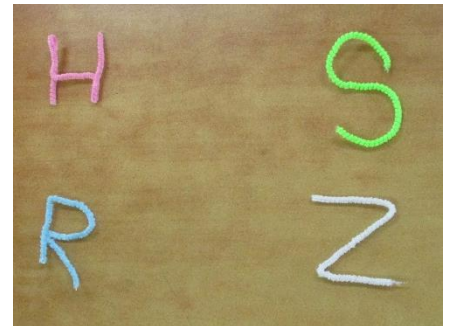
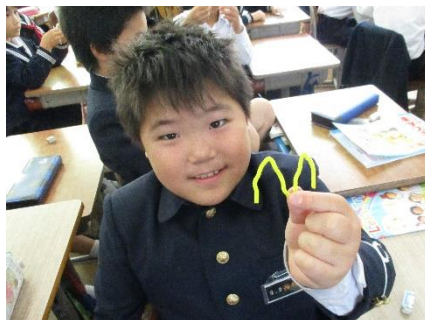


児童はクイズを楽しみながら、形をよく見て答えたり、自然とアルファベットを声に出したりしていた。また、似ているアルファベットに気付いたり、再確認したりする姿もあった。

○ 何の文字かな



⑦ モールを使ってアルファベット作り



視覚的に仲間分けをして、形に着目させてからモールを使った文字作りを体験したり、アルファベット文字当てクイズを行い、形に慣れ親しませた。それらの活動を行う中で、自然と体でアルファベットの大文字を表現してみせる児童の姿も見られた。

～児童の振り返りカードの記述～

- ・「C」と思っていたのが「O」とかで、次はじっくりと見てにているアルファベットもあてたいです。
- ・アルファベットは直線や曲線でできていることが分かりました。
- ・アルファベットは、にたような形がありました。
- ・モールで「S」を作りました。よこにすると「S」はへびみたいでした。
- ・わたしは「Z」を作りました。だけど、よこにしたら「N」になりました。
- ・「W」はさかさにすると「M」になりました。

3 単元・活動のつながり

○ 前単元とのつながり

本単元は、前単元で慣れ親しんだすきな物を尋ねる英語表現を使ってやり取りをする。

○ 本時の学習活動のつながり

本時の学習活動2では、アルファベットソングを歌う。毎時間歌っている歌だが、様々なパターンで歌っている。本時は、自分のイニシャルの文字の時に立ち上がりながら歌う。これは、学習活動3のイニシャルを伝え合う活動を意識して設定したものである。

○ 次の単元とのつながり

次の単元は“Let’s Try! Unit7 This is for you.”～カードをおくろう～である。その単元では、思いを伝えるカードを作って贈る計画であるが、本単元で慣れ親しんだアルファベット大文字を使って短いメッセージを添えたい。その時に、アルファベットカードをやり取りする活動を取り入れ、既習表現の活用をする。

4 その他

休み時間もアルファベットとなかよくできればと考え、教室の壁にアルファベットをはっていた。触って遊ぶ児童の姿があった。下の写真は、自分の名前を作っているところだが、「N」が足りなくて困っている様子である。「Z」の向きを変えることで「N」として使っている。

